

# 余丁校通信



## 7月の生活目標

学校の物や自分の物を大切にしよう。

## 自分の考えを行動に

副校長 木田 那奈

梅雨入りが例年より1週間遅かった関東地方。しかし、雨の日は少なく、夏日が続いています。体調管理が難しい季節ですね。早いもので、1学期もあと3週間。夏休みまで、あと少しです。

6月12日からの学校公開は、天候もよく、3日間で延べ807人とたくさんの方々にご来校いただきました。ありがとうございました。お子さんの学級での様子をご覧いただき、いかがだったでしょうか。手を挙げてたくさん発言する姿、元気に体を動かす姿、お友達と協力する姿、いろいろな姿が見られたことと思います。

さて、先日行われた東京都議会選挙は、投票率47.59%で前回よりも5.2ポイント上回りました。2015年6月、改正公職選挙法が成立し、「18歳選挙権」が導入され、「主権者教育」が注目されました。決して、若者を選挙に行かせるためだけの教育ではありません。低い投票率を上げるためだけに行う教育でもありません。主権者教育とは、「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと」(総務省「主権者教育の推進に関する有識者会議とりまとめ」2015年)とされています。簡単に言えば、子どもたちが政治や社会のことに関心を持ち、「自分ごと」として考えた上で選挙などに主体的に参加する態度を養う教育ということです。

本校でも、主権者教育を行っています。5月に行われた教育委員会の学校訪問では、6年生の社会科の授業で議長や副議長、議員役を決め、区議会の模擬授業を行いました。また、9月には選挙管理委員会の方々に来ていただき、模擬選挙も行います。主権教育は社会科の授業だけではありません。特別活動で月に1度「学級会」を実施し、合意形成の力をつけるようにしています。1年生のうちから合意形成の力をつけられるようにすると、話し合いの中での喧嘩が不思議と起きません。機会があれば、模擬選挙や学級会を見てほしいです。

引き続き、子どもたちの自ら学ぶ力をつけられるよう指導し、一人一人の成長を見守っていきます。

## 研究について

研究担当

昨年度に引き続き、今年度の研究も「探究的」「協働的」に学ぶ児童を育成する体育の授業づくりを主題としています。器械運動を中心に、児童が自己の課題を見付け、能力に適した活動に取り組めるよう研究を進めています。

体育科の目標は、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成することです。得意や苦手ははっきりとでやすい教科ですが、どんなことがしたいのか、どんな自分になりたいのかを考える中で、一人一人に合った運動との付き合い方を見つけてほしいと考えています。また、友達からヒントをもらったり、友達に伝えたりする中で、自分の考えをさらに深めていってほしいです。

私たち教員も日々、子どもたちはどんなことをどのように学びたいのか、どんな子どもたちに育てほしいかを考えながら授業改善をし、子どもたちに負けないくらい進化し続けられるよう、教員一同努力していきます。

## 給食室から

栄養士

今年度から余丁町小学校の学校栄養士としてお世話になっております。4月からスタートして早いもので約3か月経ちました。給食時間に、配膳や給食を食べている様子を見に、各クラスを覗いてみますが、最近では子どもたちから声をかけてくれることも増えてきました。「この前の揚げパンがおいしかった!」「全部食べたよ。」「おかわりじゃんけんで負けてしまった。」「今度〇〇をつくって!」などなど、色々感想が直接聞けるととてもいい機会です。そしてなにより「今日もおいしかった。」と聞くとほっとします。

お米をはじめ昨今の食材料費の高騰が、給食にも影響が出てきそうで、やりくりも厳しくなりつつありますが、子どもたちの声かけに元気をもらって、給食室の調理スタッフとともに、常に安全でおいしい給食をめざしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。